

2013年度超電導応用研究会/材料研究会 合同研究会のご案内

酸化物高温超電導体の発見後25年あまりを経て、各種高温超伝導線材の商用生産も開始され、比較的容易に長尺線材が入手出来る様になった。また、実用線材として一世代先を行く金属系材料においても、従来問題となっていた耐歪み特性の改善や更なる高磁界特性の向上も実現されている。また、これら先進線材を用いた大容量導体や、永久電流モードによる浮上コイルの実現など、特徴あるデバイスの開発も進展してきている。本研究会では、材料系と応用の分野の関連研究者の皆様にお集まり頂き、線材開発から見た課題と新たな応用の可能性、デバイス応用側から見た線材に対する要求性能などについて討議することを目的とする。

皆様奮ってご参加下さい。

テーマ：先進超伝導線材とパワーデバイス応用の最近の進展と今後の展望

日時：2013年12月3日(火) 13:30~17:00

場所：名古屋大学 ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 3階 ベンチャーホール
名古屋市中種区不老町

参加費（資料代）：2,000円（どなたでも自由に参加できます。）

プログラム

13:30~13:35 はじめに 材料研究会委員長

13:35~14:00 「Y系超電導線材開発における最近の進展と今後の展望」和泉輝郎 (ISTEC)

14:00~14:25 「臨界電流密度の制御：人工ピン技術の現状と将来」 松本 要 (九工大)

14:25~14:50 「金属系、酸化物系超電導線材の高磁場応用への展開」 淡路 智 (東北大)

14:50~15:00 休憩

15:00~15:25 「核融合炉用アルミニウム合金被覆 Nb₃Sn 導体の研究開発」 高畑一也 (核融合科学研究所)

15:25~15:50 「トーラスプラズマ実験装置 Mini-RT 用 REBCO 浮上コイル」 小川雄一 (東大)

15:50~16:00 まとめ

16:00~17:00 見学会 「ノーベル賞記念館」や「赤崎記念館」、「野依記念館」

オーガナイザー：超電導応用研究会：三戸利行 (核融合研)、平野直樹 (中部電力)、木須隆暢 (九大)
材料研究会：吉田 隆 (名大)

問い合わせ先：名古屋大学 大学院 工学研究科 エネルギー理工学専攻 吉田 隆

TEL:052-789-5417 FAX:052-789-5418 E-Mail: yoshida@nuee.nagoya-u.ac.jp

会場案内図



交通手段： 地下鉄東山線の場合 「本山」 駅下車 名城線乗り換え 「名古屋大学」 駅下車